

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	こども発達支援センター事業	所管部局	学校教育部

1	所管 室課	学校管理課	事業名	こども発達支援センター管理事業		
事業概要						
こども発達支援センター管理						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【包括管理業務委託】 包括管理業務において、こども発達支援センターの施設維持管理に係る設備保守点検業務等を行った。		決算額 (千円)	-	749	2,166	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	-	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		包括管理業務の実施に当たっては、事業者や関係室課とも協力しながら、連携体制を構築するとともに、事業実施のチェック体制を確立する必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
					継続	
			今後も引き続き、施設環境の充実に努める。			

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	こども発達支援センター事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	こども発達支援センター	事業名	こども発達支援センター管理事業			
事業概要							
こども発達支援センター管理							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【旧児童部こども発達支援センター地域支援センター】			決算額 (千円)	27,098	31,598	30,965	※課題があるものは■
電気設備、消防設備、建築物・建築設備等の安全点検、修繕を実施。警備安全管理業務を実施。			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性	
			平成19年（2007年）に施設が整備され18年経過していることから、令和6年度はエアコンの修繕、トイレの修繕等を行った。今後も施設内の設備を計画的に更新していく必要がある。また、昨今の異常気象等の影響により集中豪雨が発生した際に、換気扇等に結露が発生し、天井や壁に浸潤することが頻発している。市内の障がい児施策推進の拠点施設として運営を続けるためには、施設全体の計画的な改修が必要である。			☐ 効率性	
						☐ 公平性	
						■ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

2	所管 室課	こども発達支援センター	児童発達支援事業			
事業概要						
児童発達支援、相談支援、保育所等訪問支援、地域療育支援、通園療育支援、乳幼児健診事後指導						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【こども発達支援センターの機能強化による拡充】 (1) 児童発達支援（児童福祉法に基づく児童発達支援として日常生活指導・機能回復訓練など、児童の発達状況に応じた療育を行う） 【杉の子学園園児数】令和4年度末66人、令和5年度末68人、令和6年度末70人。【わかたけ園児数】令和4年度末28人、令和5年度末27人、令和6年度末23人。(2) 相談支援事業（障がい児支援利用計画の作成等）令和4年度契約者数62人、令和5年度56人、令和6年度51人 (3) 保育所等訪問支援（児童福祉法に基づき保育園等に専門職を派遣し助言・指導を行う）令和4年度7件、令和5年度9件、令和6年度0件(4) 地域療育支援【一般相談】令和4年度225件、令和5年度337件、令和6年度351件【発達相談】令和4年度483件、令和5年度505件、令和6年度548件【言語相談】令和4年度141件、令和5年度158件、令和6年度118件【作業療法相談】令和4年度172件、令和5年度280件、令和6年度283件【理学療法相談】令和4年度41件、令和5年度22件、令和6年度26件【5歳おひさま相談】令和4年度252件、令和5年度281件、令和6年度314件【大阪大学カンファレンス】令和5年度73人、令和6年度67人【その他】理学療法訓練等の各種訓練、障害児通所支援事業所への機関支援・研修、保育所等への巡回相談、医療的ケア児等コーディネーターによる相談、ペアレント・トレーニング等を実施した。(5) 通園療育支援（園児の保護者の疾病等により通園が困難な児童に対し介助員を雇用し継続療育を保証する）(6) 乳幼児健診事後指導（親子療育教室を実施）【バンビ親子教室】令和4年度211組、令和5年度231組、令和6年度256組 他		決算額 (千円)	113,567	116,756	266,133	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	92.8	91.7	91.2	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		児童発達支援事業と地域療育事業を統合したため決算額は増加。杉の子学園・わかたけ園に通園する児童像を整理・確認し関係機関と共有することで適切に繋ぐ取組を強化する。増加する医療的ケア児とその保護者への支援を関係機関と連携し充実を図る。おひさま相談は令和7年度からすこやか親子室の5歳児対象スクリーニング事業と連携し、児童の就学を支援する。効率的・効果的な療育システムを確立するための検討を関係機関と行っている。民間通所支援事業所の療育の質の向上や連携強化を図るため支援者向け講座や事業所への訪問を行った。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
こども発達支援センター	還付事業		

評価対象年度 令和6年度

1	所管 室課	子育て給付課	事業名	児童扶養手当給付事業			
事業概要							
児童扶養手当給付							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【児童扶養手当の所得制限限度額の引き上げ及び第3子以降の多子加算額の増額による拡充】 ・児童扶養手当法に基づき、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育する者に手当を支給した。 【支給件数】 令和4年度…24,402件 令和5年度…23,485件 令和6年度…23,188件			決算額 (千円)	1,001,522	979,812	1,008,630	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	66.7	66.8	66.7	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			特になし			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
			法定受託事務で、ひとり親家庭への経済的な支援の根幹となる事業である。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

1/3

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	ひとり親家庭等支援事業	所管部局	児童部

3	所管 室課	子育て給付課	事業名	母子生活支援施設・助産施設入所事業			
事業概要							
市外母子生活支援施設入所、助産施設入所							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
・母子生活支援施設 DVなどの理由により、市内に居住することが困難な母子家庭を入所させ、生活の安定を図った。 【入所世帯数】 令和4年度…1世帯 令和5年度…2世帯 令和6年度…3世帯 ・助産施設 経済的な理由により入所助産を受けることができない妊産婦に対して、入所助産に係る費用を助成した。 【入所人数】 令和4年度…5人 令和5年度…9人 令和6年度…8人			決算額 (千円)	2,539	12,301	12,301	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	50.0	58.3	50.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			特になし				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続
							ひとり親家庭等の生活 の安定を図り、配慮を 必要とする家庭への支 援として、今後も引き 続き実施する必要があ る。

4	所管 室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入事業			
事業概要							
母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入経費 債務負担行為 令和5年度から令和8年度まで			決算額 (千円)	33,701	33,698	33,698	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			特になし			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
			令和2年4月の中核市 移行に伴い、大阪府から事務移譲を受けた母子父子寡婦福祉資金貸付金の譲渡債権を購入するため、事業を実施する必要がある。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	ひとり親家庭等支援事業	所管部局	児童部

5	所管 室課	子育て給付課	事業名	交通遺児手当・遺児手当支給事業			
事業概要							
交通遺児手当支給、遺児手当支給							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
・交通遺児手当 交通事故により両親の一方が死亡または重度障がいとなった中学校終了前の児童を養育する者に対して手当を支給した。 【支給件数】 令和4年度…108件 令和5年度…96件 令和6年度…72件 ・遺児手当 両親が死亡または重度障がいとなった中学校終了前の児童を養育する者に対して手当を支給した。 【支給件数】 令和4年度…98件 令和5年度…91件 令和6年度…84件			決算額 (千円)	1,669	1,515	1,264	※課題があるものは■
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 市民ニーズ、社会的役割
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性	
			特になし			☐ 効率性	
						☐ 公平性	
			今後の実施計画 の方向性・内容			☐ 持続可能性	
						継続	
						経済的・精神的な不安を抱えることとなった家庭を支援すること、児童の健全な育成を図るため、今後も引き続き事業を実施する必要がある。	

6	所管 室課	子育て給付課	事業名	ひとり親家庭医療費助成事業			
事業概要							
ひとり親家庭医療費助成							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【ひとり親家庭医療費助成の所得制限限度額引き上げに伴う対象者拡大による拡充】 18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童と、その児童を監護養育するひとり親等に係る医療費の自己負担額の一部を助成した。 令和4年度 延べ対象者数…55,637人 助成額…159,446千円 令和5年度 延べ対象者数…53,722人 助成額…175,491千円 令和6年度 延べ対象者数…52,970人 助成額…174,839千円			決算額 (千円)	163,905	180,258	179,432	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	51.1	51.0	50.3	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			ひとり親家庭の方の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう、継続して事業を実施する必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	ひとり親家庭等支援事業	所管部局	児童部

7	所管 室課	子育て給付課	事業名	児童扶養手当等返還金滞納整理事業				
事業概要								
児童扶養手当等返還金滞納整理								
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
・ 児童扶養手当 令和4年度 債権件数…17件 督促件数…24件 支払件数…12件 令和5年度 債権件数…15件 督促件数…22件 支払件数…9件 ※「支払件数」について、現年度分支払件数の計上漏れのため、 6件から9件へ訂正 令和6年度 債権件数…20件 督促件数…25件 支払件数…15件			決算額 (千円)	0	0	3	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				■ 公平性 ☐ 持続可能性	
・ 児童手当 令和4年度 債権件数…8件 督促件数…4件 支払件数…4件 令和5年度 債権件数…11件 督促件数…5件 支払件数…6件 令和6年度 債権件数…14件 督促件数…2件 支払件数…10件			未納に対する文書催告や電話催告、分 納相談などきめ細やかな対応を行った。 今後は債権管理を適正かつ効率的に行 うため、債権管理課との連携を推進して いく必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

	所管 室課		事業名					
事業概要								
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
							今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	家庭児童相談事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	家庭児童相談室	事業名	家庭児童相談事業			
事業概要							
子育て短期支援、子ども見守り家庭訪問、育児支援家庭訪問、児童虐待防止対策、親支援プログラム（親子関係形成支援）、子育て世帯家事・育児支援							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
（１）児童虐待防止対策事業 複雑化する家庭児童相談に迅速かつ適切に対応するため、令和6年度には家庭児童相談員を増員するとともに、ヤングケアラーコーディネーターを配置し、市内小・中学校及び保育園等を巡回訪問するなどアウトリーチによる虐待予防に取組み、相談支援体制等の強化を図った。 ・家庭児童相談件数 令和3年度（1,538件）、令和4年度（2,017件）、令和5年度（2,277件）、令和6年度（2,305件） （２）子ども見守り家庭訪問事業 乳児家庭の地域社会からの孤立を防止するため、民生・児童委員、主任児童委員等による乳児の健やかな成長に必要な情報の提供や助言を実施した。 ・家庭訪問による面談率（保健師の新生児訪問を除く） 令和3年度（35.2％）、令和4年度（79.0％）、令和5年度（73.2％）、令和6年度（70.3％） （３）子育て世帯家事・育児支援事業 家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊娠婦・ヤングケアラー等がいる家庭に家事・育児等の支援を実施した。事業導入が望ましい家庭に対し、慎重かつ丁寧に働きかけを行った。 ・子育て世帯家事・育児支援事業延利用件数 令和4年度（106件）、令和5年度（442件）、令和6年度（306件）			決算額 (千円)	9,282	23,296	46,003	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	45.3	48.2	6.8	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			ヤングケアラーも含め、複雑化する家庭児童相談や、地域のニーズ把握に対応するため、人員体制を強化し、家庭支援事業などの予防的支援や、アウトリーチ等による個別支援、学校・保育園等への巡回訪問による関係者への支援・啓発を行い、児童虐待の予防、早期発見・早期対応、重症化予防に努める必要がある。また、子ども見守り家庭訪問事業について、より効果的な事業手法を検討するとともに、児童福祉法の規定に則し、児童育成支援拠点の事業実施を検討する必要がある。				
				拡充		・子ども見守り家庭訪問事業のより効果的な事業手法の検討 ・児童育成支援拠点の事業実施検討	

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	子供の生活支援事業	所管部局	福祉部

1	所管 室課	生活福祉室	事業名	子どもの学習・生活支援事業			
事業概要							
子どもの学習・生活支援							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 貧困の連鎖を防止することを目指し、生活困窮者世帯の子どもの学力向上のための学習支援教室（市内5教室）での学習指導を行った。 南ブロック 学習支援教室 開催回数 98回 延べ中高生参加人数 160人 北ブロック 学習支援教室 開催回数 100回 延べ中高生参加人数 642人 東ブロック 学習支援教室 開催回数 98回 延べ中高生参加人数 561人 西ブロック 学習支援教室 開催回数 99回 延べ中高生参加人数 223人 北第2ブロック 学習支援教室 開催回数 103回 延べ中高生参加人数 654人 (2) 子ども健全育成生活支援員による養育・教育・日常生活支援を行った。 子ども健全育成生活支援員 3人			決算額 (千円)	27,785	30,026	34,296	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	50.2	50.1	50.0	☐ 有効性 ■ 効率性 ■ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			学習支援教室について、令和6年度は、中学生55人及び高校生22人が参加し、参加した中学3年生の高校進学率は100%であった。 引き続き、不登校等の子供の居場所支援としての役割を含め、必要に応じて子ども健全育成生活支援員を活用しながら、効果的な支援に取り組んでいく。 また、生活困窮世帯に対して、本事業の効果的な周知を行い、利用の拡大に努めていくことが重要である。			継続	

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

評価対象年度 令和6年度

1	所管 室課	子育て政策室	事業名	子どもの生活支援事業			
事業概要							
子どもの生活支援							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【子供食堂等への運営費助成の新設による拡充】 (1) 子供食堂等運営事業補助 令和6年度より活動に要する経費を補助対象とした。 ・対象施設数 令和4年度…3か所、令和5年度…1か所、 令和6年度…9か所 ・助成額 令和4年度…487,214円、令和5年度…191,103円、 令和6年度…910,601円 (2) 子供の習い事費用助成事業 令和6年度より、生活保護又は児童扶養手当受給者で小学校5年生から中学校3年生までの児童・生徒の保護者に対し、習い事費用に対する助成を開始した。 ・利用者数 令和6年度…489人 (3) 子供の貧困対策に関するワーキングチーム 「第2次吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」に関係する部局の事業や施策の進捗状況及び課題等について、情報共有を図った。 ・実施回数 令和4年度…10回、令和5年度…3回、 令和6年度…3回 (4) 市民セミナーの開催 子供の貧困についての市民意識の醸成を目的に、市民や関係部署の職員を対象としたセミナーを開催した。 ・参加者数 令和4年度…34人、令和5年度…58人、 令和6年度…30人			決算額 (千円)	5,523	26,533	87,533	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	63.4	99.3	93.2	■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			子供の習い事費用助成事業については、 利用者数が伸び悩んでいることから、対象者に対して積極的な周知に努め、本事業の定着を図っていく必要がある。				
				継続			
				子供の習い事費用助成事業については、より多くの対象者に活用いただくため、関係部署と連携し制度の周知を進めていく必要がある。			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

1/1

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	児童福祉サービス給付事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	すこやか親子室	事業名	児童福祉サービス給付事業		
事業概要						
児童福祉サービス給付						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 支給決定件数 児童福祉法上の障がい児通所支援の利用を必要とする児童に対し、通所受給者証を交付した。 支給決定件数 令和4年度…2,753件 令和5年度…3,406件 令和6年度…3,980件		決算額 (千円)	2,671,875	3,145,670	3,598,349	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	25.1	25.3	24.2	☐ 有効性 ■ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
(2) 支給額 支給決定業務において、対象児童に交付した通所受給者証をもとに請求された障がい児通所給付費等について、審査及び支払いをした。 障がい児通所支援延べ利用件数及び支給額 令和4年度…226,526件 2,667,234,211円 令和5年度…259,305件 3,138,351,928円 令和6年度…283,897件 3,586,939,122円		・発達支援や早期療育の必要性が広く認識され、療育を必要とする児童が増加。 ・対象児童の増加に伴い、事業費も増大し、業務量も増加傾向にある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
					継続	
		引き続き、業務プロセスの改善に取り組む。				

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付金事業			
事業概要							
母子父子寡婦福祉資金貸付金							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
【生活資金貸付金の項目追加による拡充】 ひとり親家庭及び寡婦の経済的自立を図るため、子どもの修学や就学支度、親自身の技能習得等に必要な資金の貸付けを行った。 【貸付実績】 令和4年度 新規貸付…23件 継続貸付…32件 令和5年度 新規貸付…9件 継続貸付…30件 令和6年度 新規貸付…17件 継続貸付…30件			決算額 (千円)	26,384	24,864	31,537	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 効率性
			特になし				☐ 公平性
							☐ 持続可能性
			今後の実施計画 の方向性・内容				
			継続				

2	所管 室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付事務事業				
事業概要								
母子父子寡婦福祉資金貸付事務								
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点	
貸付申請の受理及び審査、貸付決定後の借用手続、貸付金の振込み及びコンビニ納付、口座振替での収納業務を行った。			決算額 (千円)	1,865	1,677	1,777	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			特になし				今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
子育て給付課	償還金滞納整理事業		
子育て給付課	元金償還事業		
子育て給付課	一般会計繰出事業		